

## 2 卸売業の状況

＊ 事業所数・就業者数・年間商品販売額のいずれも3%前後の減少

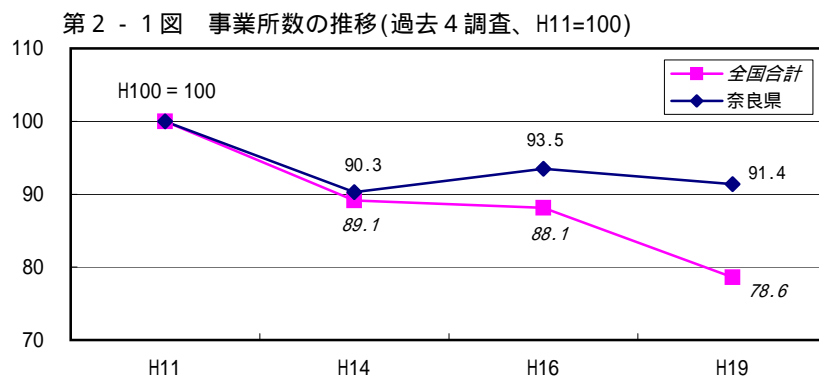
### (1) 事業所数

＊ 事業所数は1,928事業所で、前回は2.3%の減少

＊ 就業者規模、年間商品販売額規模などの小さい事業所数の割合が拡大

卸売業の事業所数1,928事業所は全国第44位で、前回に比べて45事業所減少(2.3%)しました。

過去4調査をみると、全国合計とほぼ同様の推移をたどっていますが、今回は、全国合計の減少に比べて小幅な減少となりました。

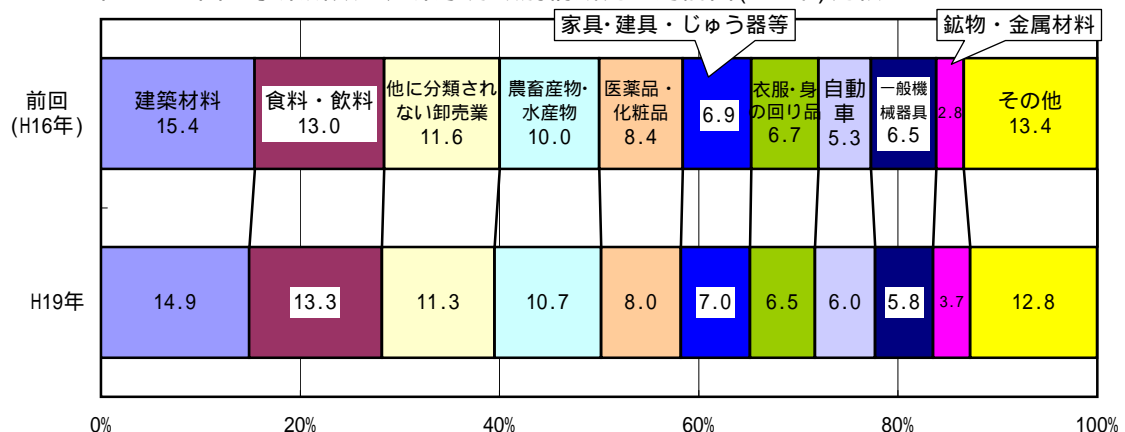


### 産業小分類別

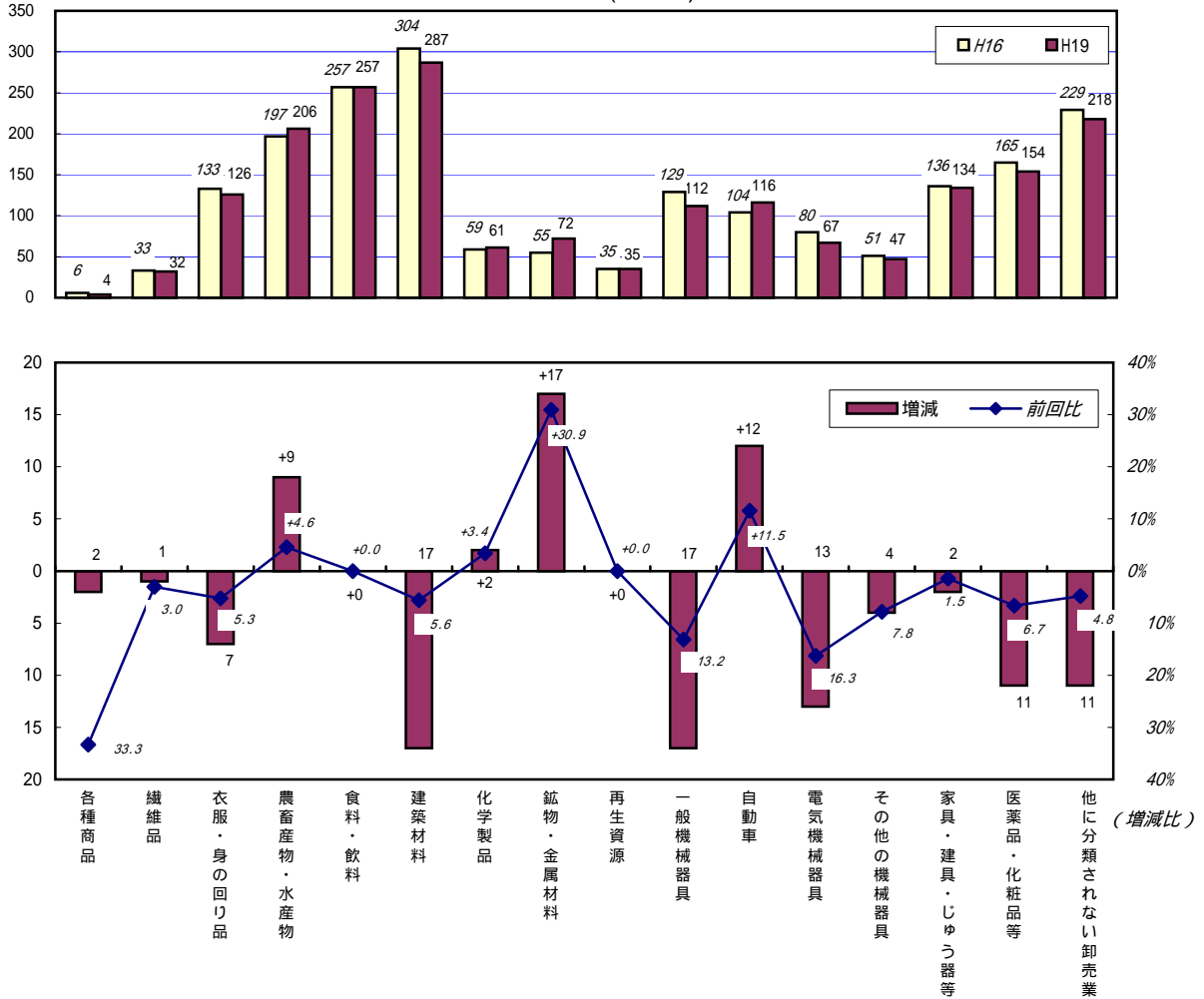
産業小分類別にみると、建築材料(287事業所、構成比14.9%)が最も多く、次いで食料・飲料(257事業所、同13.3%)、他に分類されない卸売業(218事業所、同11.3%)、農畜産物・水産物(206事業所、同10.7%)、医薬品・化粧品等(154事業所、同8.0%)の順となりました。

前回と比べると、鉱物・金属材料(+17事業所、+30.9%)、自動車(+12事業所、+11.5%)など4業種で増加し、一般機械器具(17事業所、13.2%)、建築材料(17事業所、5.6%)、電気機械器具(13事業所、16.3%)など10業種で減少しました。

第2-2図 事業所数の産業小分類別構成比の対前回(H16年)比較



第2 - 3図 産業小分類別事業所数の対前回(H16年)比較

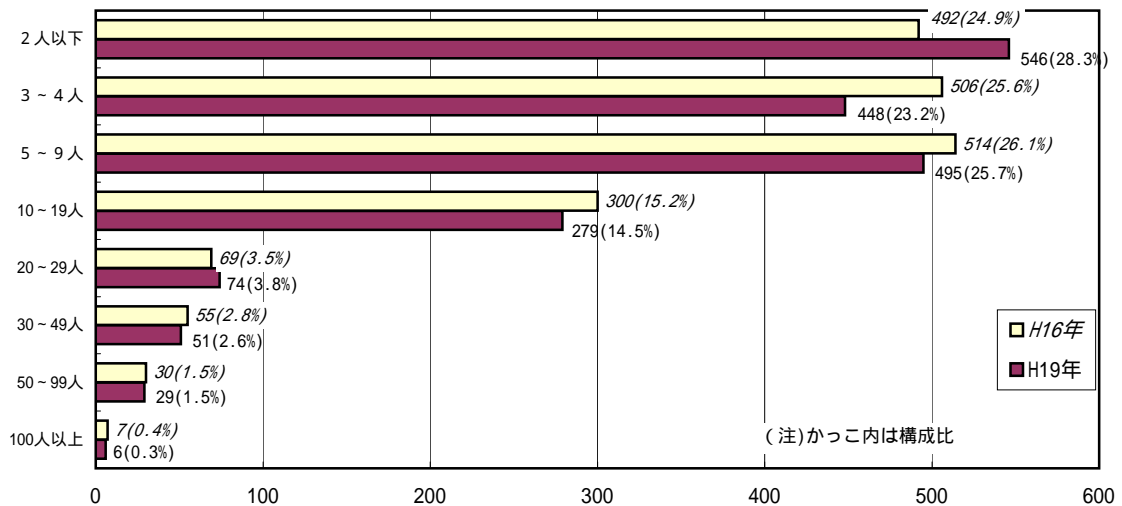


就業者規模別

就業者規模別にみると、「2人以下」(546事業所、構成比28.3%)が最も多く、次いで「5～9人」(495事業所、同25.7%)、「3～4人」(448事業所、同23.2%)、「10～19人」(279事業所、同14.5%)の順となっており、これら19人以下の規模で全体の9割以上(91.7%)を占めました。

前回と比べると、ほとんどの規模区分で減少している中で、「2人以下」(+54事業所、+11.9%)と「20～29人」(+5事業所、+7.2%)では増加しました。

第2 - 4図 就業者規模別事業所数及び構成比の対前回(H16年)比較



## 年間商品販売額規模別

年間商品販売額規模別にみると、「1億円以上10億円」(666事業所、構成比34.5%)が最も多く、次いで「2,000万円以上5,000万円未満」(309事業所、同16.0%)、「5,000万円以上1億円未満」(283事業所、同14.7%)の順となりました。

前回と比べると、1,000万円以上10億円未満規模の各区分と「100億円以上」で減少し、それ以外の区分では増加しました。

第2-1表 商品販売金額規模別事業所数及び構成比の対前回(H16年)比較

年間商品販売額規模	H19年		前回(H16年)		対前回増減		全国合計	
	事業所数	構成比(%)	事業所数	構成比(%)	増減数	増減比(%)	事業所数	構成比(%)
200万円未満	52	2.7	23	1.2	+29	+126.1	4,366	1.3
200万円以上500万円未満	67	3.5	41	2.1	+26	+63.4	6,808	2.0
500万円以上1,000万円未満	137	7.1	112	5.7	+25	+22.3	13,000	3.9
1,000万円以上2,000万円未満	183	9.5	190	9.6	7	3.7	21,763	6.5
2,000万円以上5,000万円未満	309	16.0	369	18.7	60	16.3	44,685	13.3
5,000万円以上1億円未満	283	14.7	285	14.4	2	0.7	42,806	12.8
1億円以上10億円未満	666	34.5	722	36.6	56	7.8	140,450	42.0
10億円以上100億円未満	184	9.5	179	9.1	+5	+2.8	46,410	13.9
100億円以上	7	0.4	8	0.4	1	12.5	4,581	1.4
H18年以降(H16年数値はH15年以降)開設した事業所	40	2.1	44	2.2	4	9.1	9,930	3.0
計	1,928	100.0	1,973	100.0	45	2.3	334,799	100.0

## 経営組織別

経営組織別にみると、個人事業所が全体の40.5%(781事業所)、法人事業所が59.5%(1,147事業所)という割合になっており、全国合計(個人81.7%、法人18.3%)に比べると奈良県は個人事業所の割合が高くなっています。

前回と比べると、個人事業所は減少(36事業所、4.4%)しましたが、その内訳をみると、単独事業所は減少(40事業所、5.0%)、本店、支店はともに増加していました。一方、法人事業所は微減(9事業所、+0.8%)となりましたが、その内訳をみると、本店、支店はともに減少、単独事業所は増加(+43事業所、+5.0%)となりました。

第2-2表 経営組織別事業所数及び構成比の対前回(H16年)比較

		経営組織	単独事業所	本店	支店	計	構成比(%)
H19年	個人経営		763	8	10	781	40.5
	法人経営		664	130	353	1,147	59.5
	計		1,427	138	363	1,928	100.0
	構成比(%)		74.0	7.2	18.8	100.0	
前回(H16年)	個人経営		803	6	8	817	41.4
	法人経営		621	151	384	1,156	58.6
	計		1,424	157	392	1,973	100.0
	構成比(%)		72.2	8.0	19.9	100.0	
対前回増減	増減数	個人経営	40	+2	+2	36	
		法人経営	+43	21	31	9	
		計	+3	19	29	45	
	増減比(%)	個人経営	5.0	+33.3	+25.0	4.4	
		法人経営	+6.9	13.9	8.1	0.8	
		計	+0.2	12.1	7.4	2.3	
H19年全国合計	個人経営		59,645	619	865	61,129	18.3
	法人経営		141,079	28,835	103,756	273,670	81.7
	計		200,724	29,454	104,621	334,799	100.0
	構成比(%)		60.0	8.8	31.2	100.0	

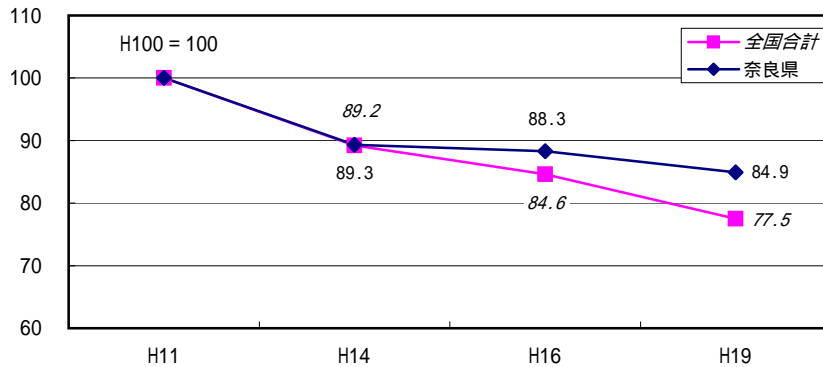
## (2) 就業者数

- \* 就業者数は16,025人で、前回比3.8%の減少
- \* 医薬品・化粧品等、電気機械器具で大幅減少

卸売業の就業者数16,025人は全国第44位で、前回に比べて641人減少( 3.8%)しました。

過去4調査をみると、全国合計とほぼ同様の推移をたどっていますが、今回は、全国合計の減少に比べて小幅な減少となりました。

第2 - 5図 就業者数の推移(過去10調査、H11=100)

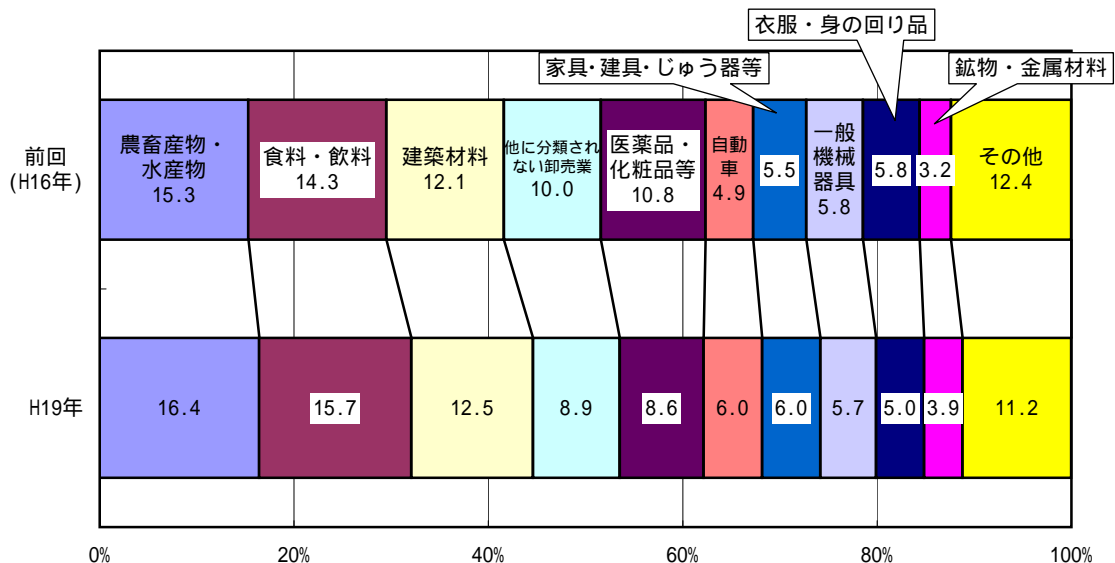


### 産業小分類別

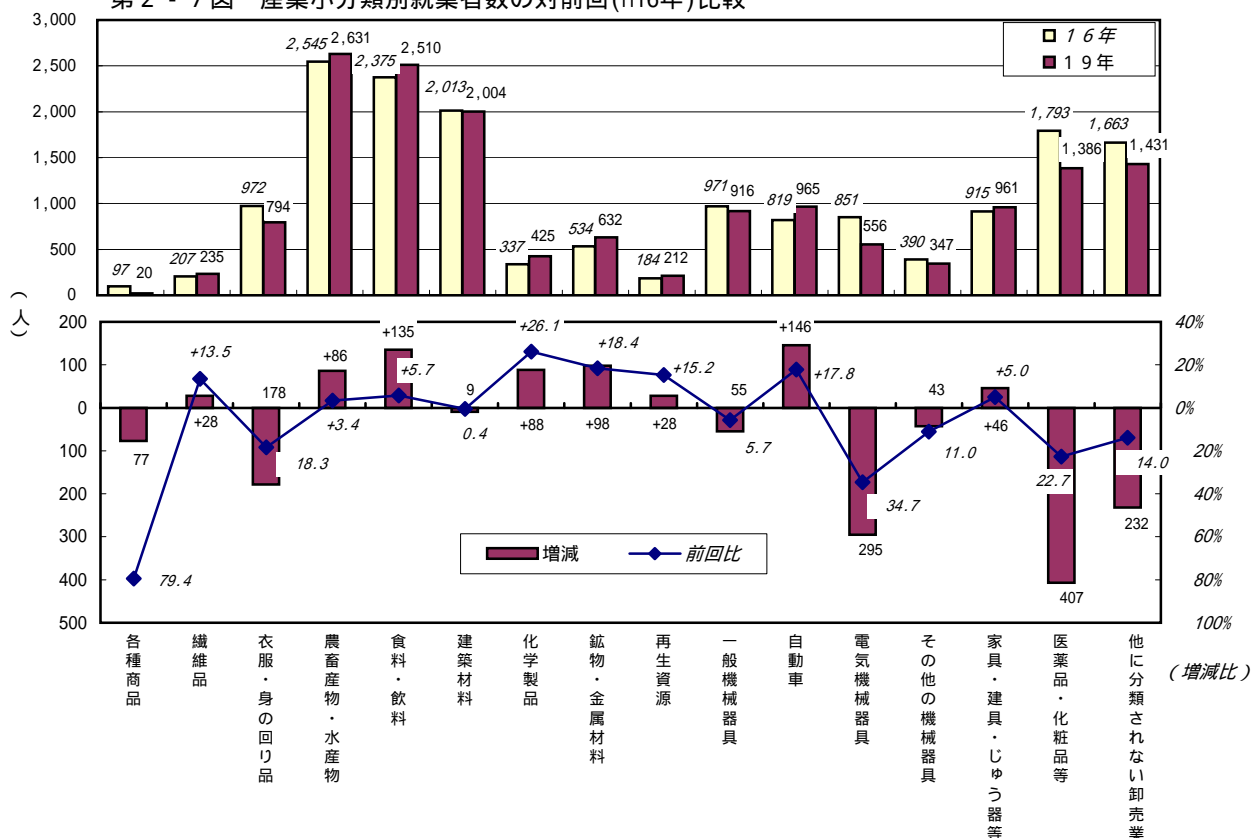
産業小分類別にみると、農畜産物・水産物(2,631人、構成比16.4%)が最も多く、次いで食料・飲料(2,510人、同15.7%)、建築材料(2,004人、同12.5%)、他に分類されない卸売業(1,431人、同8.9%)、医薬品・化粧品等(1,386人、同8.6%)の順となりました。

前回と比べると、自動車(+146人、+17.8%)、食糧・飲料(+135人、+5.7%)など8業種で増加し、医薬品・化粧品等(407人、22.7%)、電気機械器具(295人、34.7%)、他に分類されない卸売業(232人、14.0%)など8業種で減少しました。

第2 - 6図 就業者数の産業小分類別構成比の対前回(H16年)比較



第2-7図 産業小分類別就業者数の対前回(H16年)比較

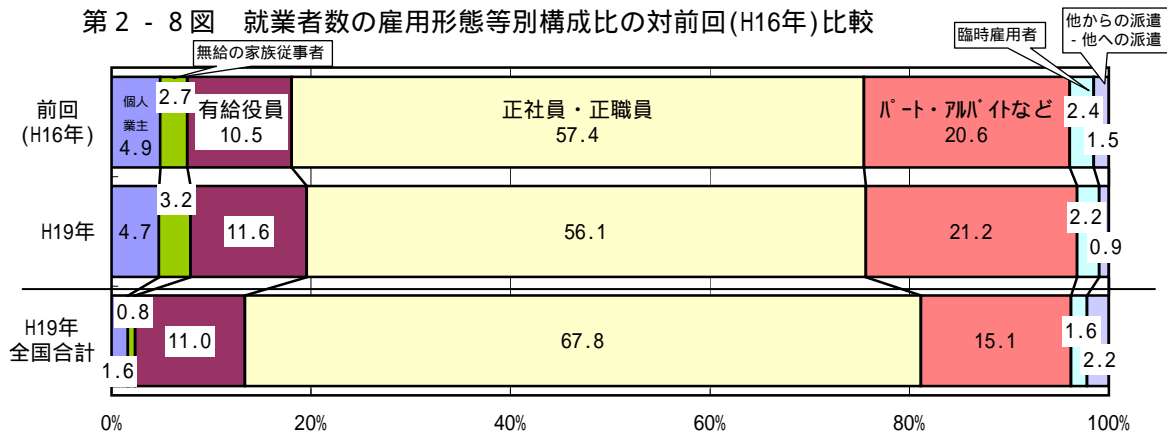


雇用形態等別

雇用形態等別にみると、正社員・正職員(8,983人、56.1%)が最も多く、次いでパート・アルバイトなど(3,396人、同21.2%)、有給役員(1,866人、同11.6%)の順となりました。

前回と比べると、有給役員(+122人、+7.0%)と無給の家族従業者(+59人、+13.0%)が増加しましたが、それ以外はすべて減少しました。なかでも正社員・正職員(582人、6.1%)などは大幅減少となりました。

第2-8図 就業者数の雇用形態等別構成比の対前回(H16年)比較



		個人業主	無給の家族従業者	有給役員	正社員・正職員	パート・アルバイトなど	臨時雇用者	他からの派遣従業者・他への派遣従業者	計
H19年	実数(人)	760	512	1,866	8,983	3,396	356	152	16,025
	構成比(%)	4.7	3.2	11.6	56.1	21.2	2.2	0.9	100.0
H16年	実数(人)	813	453	1,744	9,565	3,436	404	251	16,666
	構成比(%)	4.9	2.7	10.5	57.4	20.6	2.4	1.5	100.0
対前回増減	増減数	53	+59	+122	582	40	48	99	641
	増減比(%)	6.5	+13.0	+7.0	6.1	1.2	11.9	39.4	3.8
全国合計	実数(人)	59,904	27,557	402,766	2,484,452	551,627	58,661	80,196	3,665,163
	構成比(%)	1.6	0.8	11.0	67.8	15.1	1.6	2.2	100.0

## 男女別

男性は10,440人(構成比65.1%)、女性は5,585人(同34.9%)で、男女ともに前回に比べて減少しましたが、男性の減少幅の方が小さく、男性の割合が上昇しました。

産業小分類別にみると、衣服・身の回り品では女性の割合の方が高く(52.9%)なっていますが、それ以外では男性の割合の方が高くなっています。

第2 - 3表 男女別・産業小分類別就業者数の対前回(H16年)比較

産業小分類	H19年				前回(H16年)				対前回増減			
	就業者数(人)		構成比(%)		就業者数(人)		構成比(%)		就業者数(人)		構成比(%)	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
各種商品	15	5	75.0	25.0	75	22	77.3	22.7	60	17	2.3	+2.3
繊維品	130	105	55.3	44.7	111	96	53.6	46.4	+19	+9	+1.7	1.7
衣服・身の回り品	374	420	47.1	52.9	452	520	46.5	53.5	78	100	+0.6	0.6
農畜産物・水産物	1,709	922	65.0	35.0	1,623	922	63.8	36.2	+86	+0	+1.2	1.2
食料・飲料	1,423	1,087	56.7	43.3	1,479	896	62.3	37.7	56	+191	5.6	+5.6
建築材料	1,478	526	73.8	26.2	1,450	563	72.0	28.0	+28	37	+1.7	1.7
化学製品	269	156	63.3	36.7	229	108	68.0	32.0	+40	+48	4.7	+4.7
鉱物・金属材料	472	160	74.7	25.3	425	109	79.6	20.4	+47	+51	4.9	+4.9
再生資源	156	56	73.6	26.4	134	50	72.8	27.2	+22	+6	+0.8	0.8
一般機械器具	657	259	71.7	28.3	696	275	71.7	28.3	39	16	+0.0	0.0
自動車	770	195	79.8	20.2	639	180	78.0	22.0	+131	+15	+1.8	1.8
電気機械器具	425	131	76.4	23.6	678	173	79.7	20.3	253	42	3.2	+3.2
その他の機械器具	249	98	71.8	28.2	292	98	74.9	25.1	43	+0	3.1	+3.1
家具・建具・じゅう器等	584	377	60.8	39.2	571	344	62.4	37.6	+13	+33	1.6	+1.6
医薬品・化粧品等	883	503	63.7	36.3	957	836	53.4	46.6	74	333	+10.3	10.3
他に分類されない卸売業	846	585	59.1	40.9	947	716	56.9	43.1	101	131	+2.2	2.2
計	10,440	5,585	65.1	34.9	10,758	5,908	64.6	35.4	318	323	+0.6	0.6
全国合計(千人)	2,412	1,211	66.6	33.4	2,639	1,318	66.7	33.3	227	107	0.1	+0.1

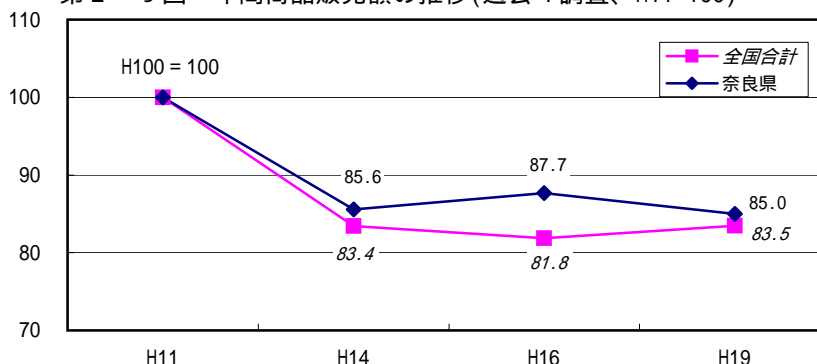
### (3) 年間商品販売額

- \* 年間商品販売額は8,760億円で、前回比3.1%の減少
- \* 就業者数規模、年間商品販売額規模などの大きい事業所で減少の傾向

卸売業の年間商品販売額8,760億円は全国第44位で、前回に比べて279億円減少(3.1%)しました。

過去4調査をみると、平成14年に大幅減少の後、16年はいったん増加しましたが、今回はまた減少に転じました。全国合計では、平成14年以降2調査連続の減少でしたが、今回は増加に転じています。

第2 - 9図 年間商品販売額の推移(過去4調査、H11=100)

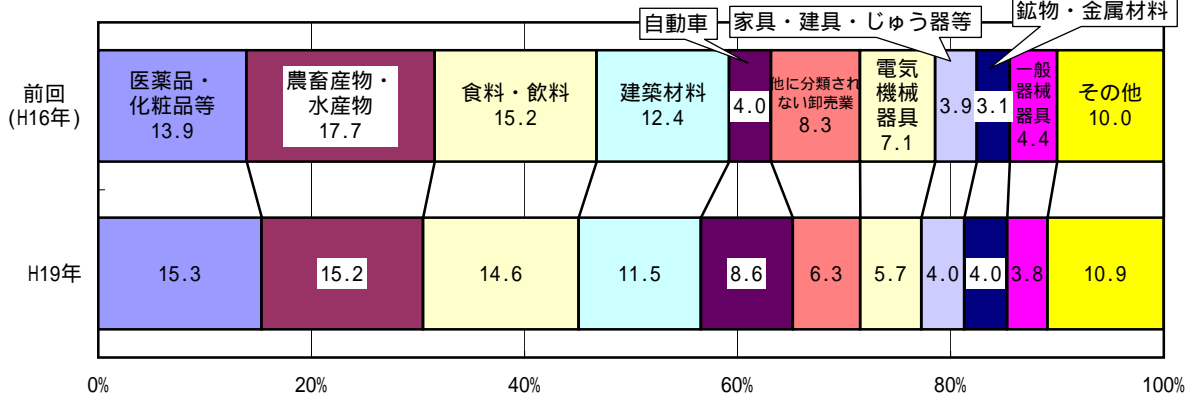


## 産業小分類別

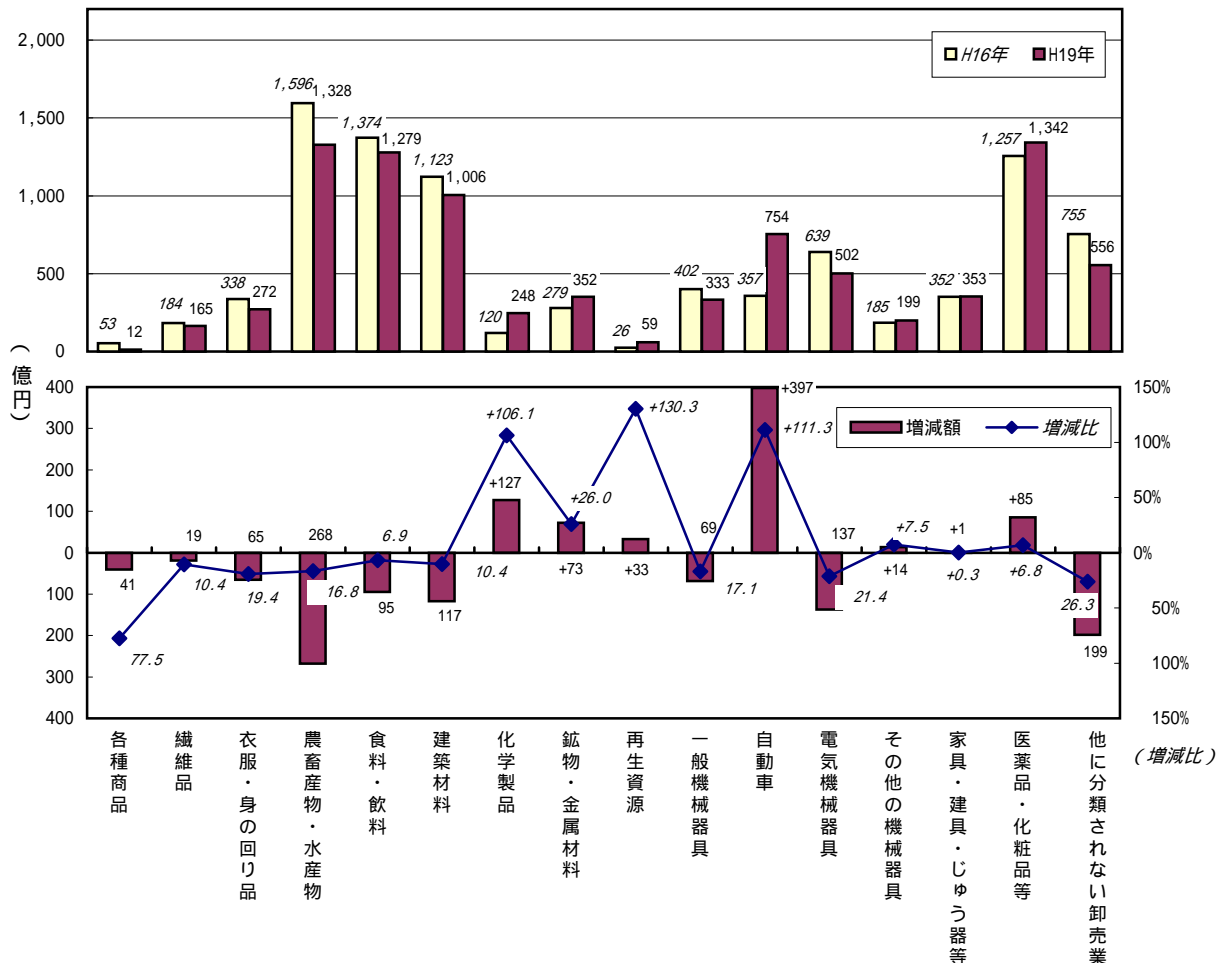
産業小分類別にみると、医薬品・化粧品等(1,342億円、構成比15.3%)が最も大きく、次いで農畜産物・水産物(1,328億円、同15.2%)、食料・飲料(1,279億円、同14.6%)、建築材料(1,006億円、同11.5%)、自動車(754億円、同8.6%)の順となりました。

前回と比べると、自動車(+397億円、+111.3%)、化学製品(+127億円、+106.1%)、医薬品・化粧品等(+85億円、+6.8%)など7業種で増加の一方、農畜産物・水産物(268億円、16.8%)、他に分類されない卸売業(199億円、26.3%)、電気機械器具(137億円、21.4%)など9業種では減少しました。

第2-10図 年間商品販売額の産業小分類別構成比の対前回(H16年)比較



第2-11図 産業小分類別年間商品販売額の対前回(H16年)比較

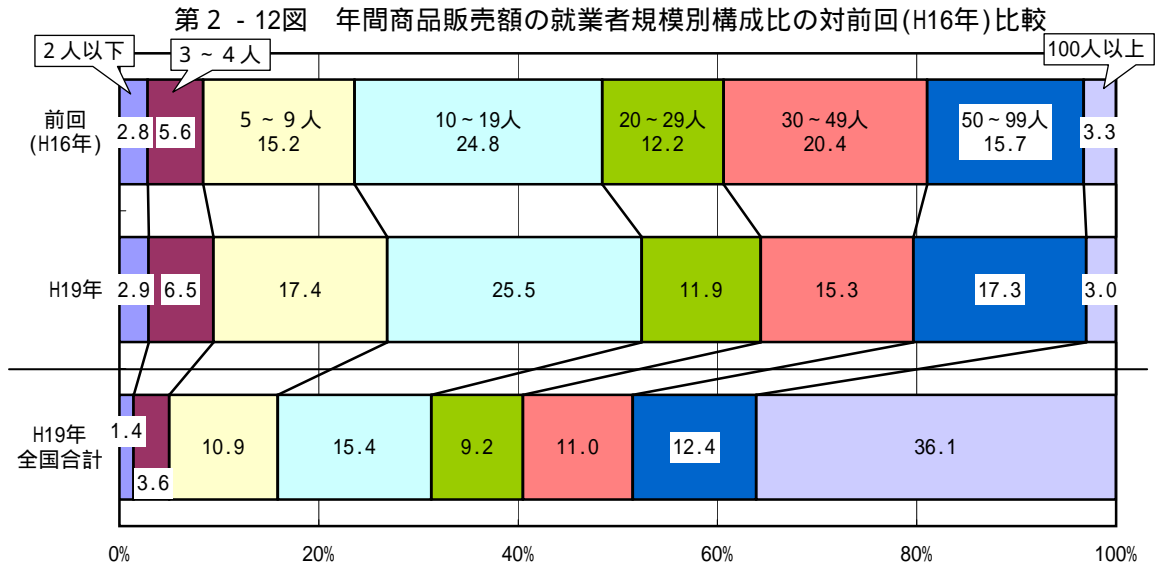


### 就業者規模別

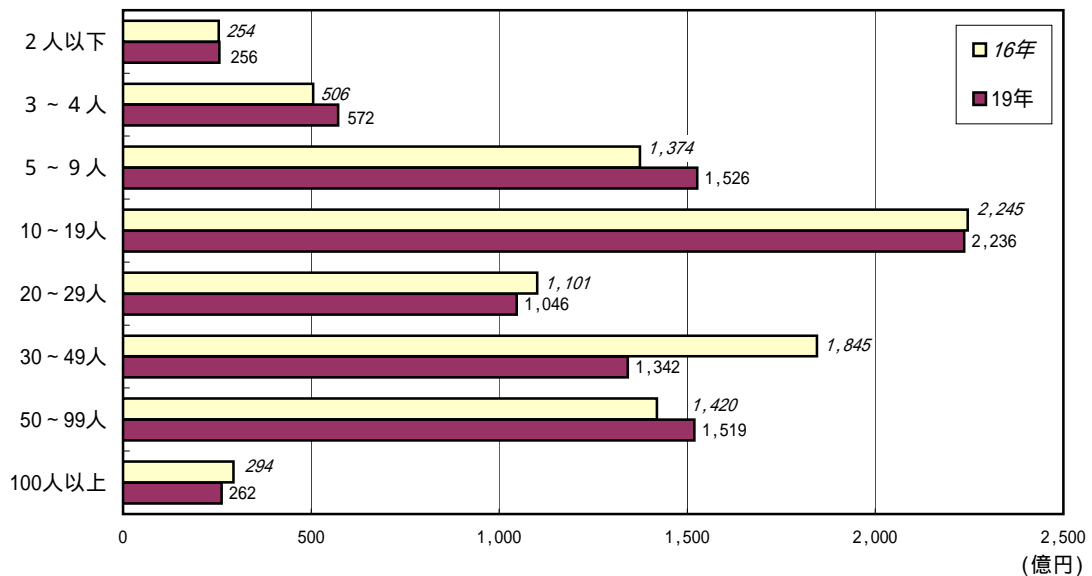
就業者規模別にみると、最も構成比の高い「10～19人」(2,236億円、構成比25.5%)をはじめ5～99人規模で全体の9割弱(87.6%)を占めました。

前回と比べると、9人以下規模の各区分と「50～99人」で増加しましたが、それ以外の区分では減少しました。

また、全国合計と比べると、奈良県の「100人以上」の構成比は3.0%で、全国合計(36.1%)を大きく下回り、「10～19人」をはじめ小規模な区分では全国合計を上回っています。



第2 - 13図 就業者規模別年間商品販売額の対前回(H16年)比較



### 年間商品販売額規模別

年間商品販売額規模別にみると、「1億円以上10億円未満」が最も大きく(4,807億円、構成比38.5%)、次いで「10億円以上100億円未満」(4,416億円、同35.3%)の順となっていますが、これら2区分で全体の7割以上(73.8%)を占めました。

前回と比べると、1億円以上100億円未満規模と500万円未満規模の各区分で増加しましたが、それ以外の区分では減少しました。



第2-4表 販売額規模別年間商品販売額及び構成比の対前回(H16年)比較

年間商品販売額規模	H19年		前回(H16年)		対前回増減		全国	
	年間商品販売額(万円)	構成比(%)	年間商品販売額(万円)	構成比(%)	増減額(万円)	増減比(%)	年間商品販売額(百万円)	構成比(%)
200万円未満	5,225	0.0	1,950	0.0	+3,275	+167.9	3,606	0.0
200万円以上500万円未満	23,154	0.0	13,326	0.0	+9,828	+73.8	22,837	0.0
500万円以上1,000万円未満	99,832	0.1	82,492	0.1	+17,340	+21.0	95,804	0.0
1,000万円以上2,000万円未満	258,049	0.3	267,263	0.3	9,214	3.4	309,171	0.1
2,000万円以上5,000万円未満	975,751	1.1	1,169,927	1.3	194,176	16.6	1,460,021	0.4
5,000万円以上1億円未満	2,038,906	2.3	1,999,660	2.2	+39,246	+2.0	3,041,821	0.7
1億円以上10億円未満	22,613,571	25.8	23,536,306	26.0	922,735	3.9	50,260,270	12.2
10億円以上100億円未満	47,851,472	54.6	49,049,232	54.3	1,197,760	2.4	123,372,600	29.8
100億円以上	10,576,026	12.1	11,637,859	12.9	1,061,833	9.1	218,386,403	52.8
H18年以降(H16年数値はH15年以降)開設した事業所	3,153,687	3.6	2,625,062	2.9	+528,625	+20.1	16,579,138	4.0
計	87,595,673	100.0	90,383,077	100.0	2,787,404	3.1	413,531,671	100.0

経営組織別

経営組織別にみると、法人事業所が8,406億円で全体の9割以上(96.0%)を占めています。全国合計でも法人事業所の割合は99.4%となっています。

前回と比べると、個人事業所、法人事業所ともに減少しました。

第2-5表 経営組織別年間商品販売額及び構成比の対前回(H16年)比較

(奈良県は万円、全国合計は百万円)

		経営組織	単独事業所	本店	支店	計	構成比(%)
H19年	個人経営		3,392,672	80,396	62,629	3,535,697	4.0
	法人経営		29,767,476	16,713,306	37,579,194	84,059,976	96.0
	計		33,160,148	16,793,702	37,641,823	87,595,673	100.0
	構成比(%)		37.9	19.2	43.0	100.0	
前回(H16年)	個人経営		3,866,203	327,832	52,610	4,246,645	4.7
	法人経営		28,624,947	19,392,461	38,119,024	86,136,432	95.3
	計		32,491,150	19,720,293	38,171,634	90,383,077	100.0
	構成比(%)		35.9	21.8	42.2	100.0	
対前回増減	増減額	個人経営	473,531	247,436	+10,019	710,948	
		法人経営	+1,142,529	2,679,155	539,830	2,076,456	
		計	+668,998	2,926,591	529,811	2,787,404	
	増減比(%)	個人経営	12.2	75.5	+19.0	16.7	
		法人経営	+4.0	13.8	1.4	2.4	
		計	+2.1	14.8	1.4	3.1	
H19年全国合計	個人経営		2,251,954	51,944	53,376	2,357,274	0.6
	法人経営		67,110,883	144,380,330	199,683,183	411,174,396	99.4
	計		69,362,837	144,432,274	199,736,559	413,531,671	100.0
	構成比(%)		16.8	34.9	48.3	100.0	

販売先別(法人事業所のみ)

法人事業所の年間商品販売額を販売先別にみると、小売業者への販売の割合(36.7%)が最も大きく、次いで卸売業者(同27.9%)、産業用使用者・その他(同26.7%)の順となりました。

全国合計と比べると、奈良県は卸売業者の割合(27.9%)が全国合計(34.0%)に比べて低く、小売業者の割合(36.7%)が全国合計(31.4%)に比べて高くなっています。

第2 - 6表 産業中分類別卸売業年間商品販売額の販売先別割合 (%, Xは秘匿)

産業小分類	販 売 先					小 売 (一般消費者)
	卸 売				国外 (直接輸出)	
	本支店間移動	卸売業者	小売業者	産業用使用者・その他		
各種商品	X	X	X	X	-	-
繊維品	0.1	15.1	4.3	77.3	2.2	1.0
衣服・身の回り品	-	58.4	30.8	9.2	0.3	1.3
農畜産物・水産物	0.7	39.9	51.0	5.2	0.0	3.2
食料・飲料	0.4	38.3	49.2	9.1	0.0	3.0
建築材料	0.9	24.5	20.5	53.3	-	0.8
化学製品	-	26.4	6.0	49.4	17.4	0.8
鉱物・金属材料	1.3	31.4	23.3	37.6	0.0	6.4
再生資源	-	14.2	3.0	61.5	21.3	-
一般機械器具	1.2	25.0	22.6	44.5	4.6	2.1
自動車	43.1	22.8	18.8	11.8	0.9	2.6
電気機械器具	1.6	9.7	40.6	42.5	5.1	0.5
その他の機械器具	0.0	25.8	22.6	49.7	0.1	1.8
家具・建具・じゅう器等	11.4	58.7	23.5	5.8	0.3	0.3
医薬品・化粧品等	4.5	12.8	43.4	38.8	-	0.5
他に分類されない卸売業	X	X	X	X	0.8	2.6
奈良県	5.4	27.9	36.7	26.7	1.3	2.0
全国	5.9	34.0	23.0	31.4	5.0	0.7

(4) 販売効率

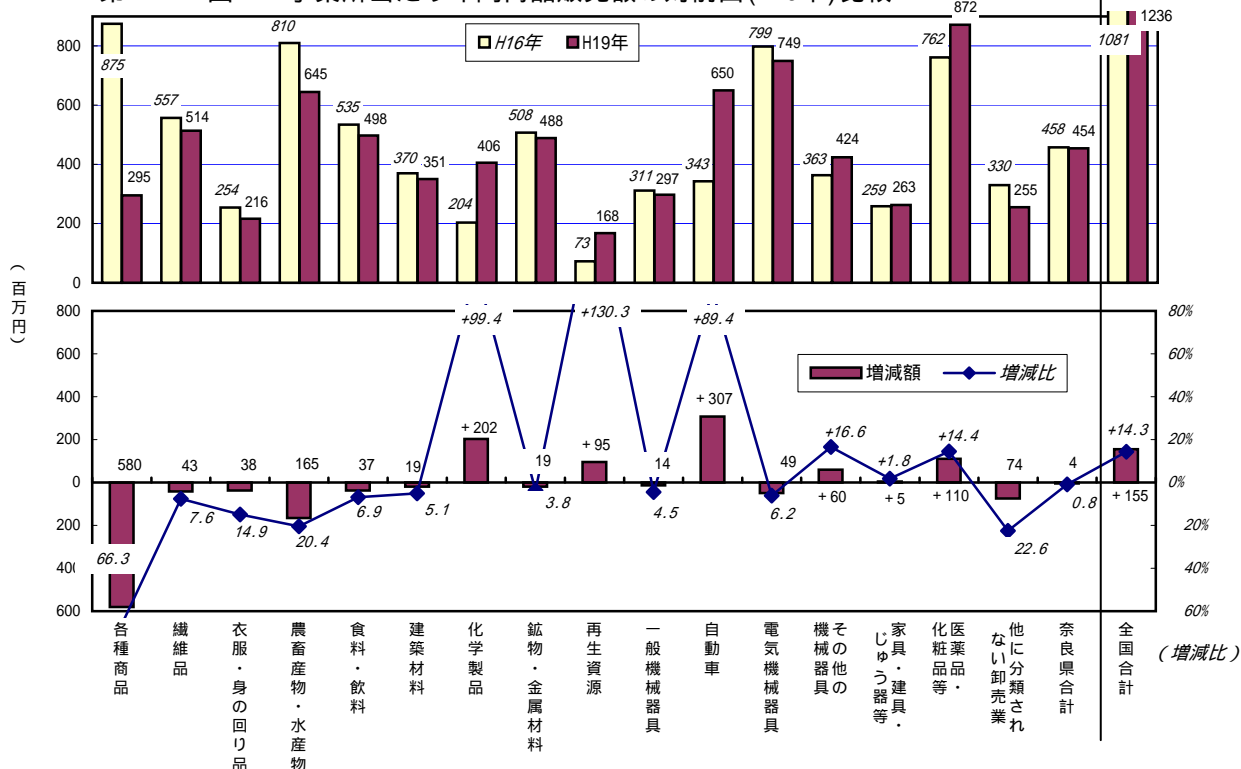
＊ 「1事業所当たり」の年間商品販売額は微減、「就業者1人当たり」では増加

1事業所当たり年間商品販売額

1事業所当たりの年間商品販売額は4億5,433万円で、前回に比べて微減(0.8%)となり、全国合計(12億3,644億円)に比べて大幅に下回りました。

産業小分類別にみると、医薬品・化粧品等(8億7,163万円)が最も大きく、次いで電気機械器具(7億4,933万円)、自動車(6億5,040万円)、農畜産物・水産物(6億4,476万円)、繊維品(5億1,431万円)の順となりました。

第2 - 14図 1事業所当たり年間商品販売額の対前回(H16年)比較

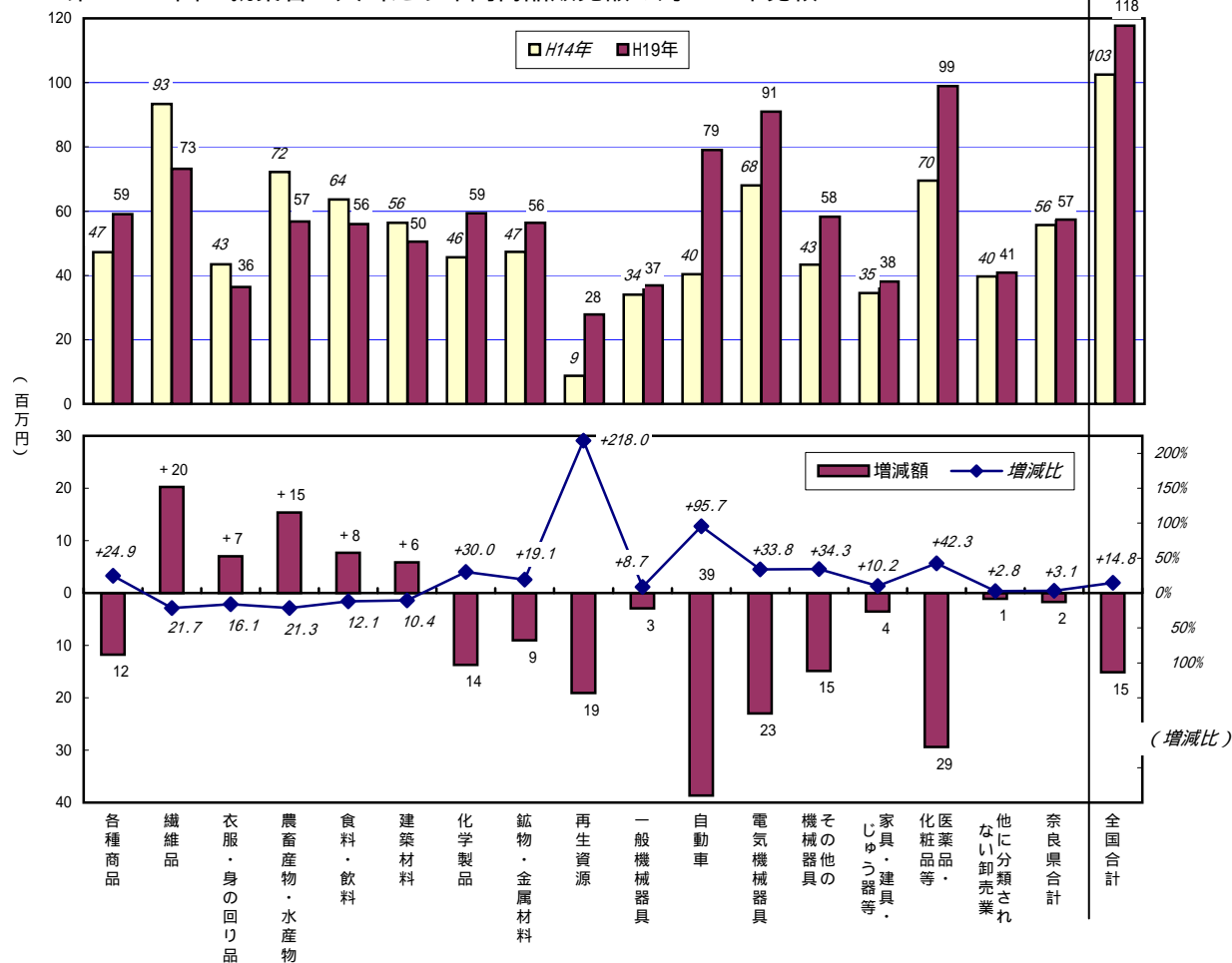


### 就業者 1 人当たり年間商品販売額

就業者 1 人当たりの年間商品販売額は5,741万円で、平成14年に比べて3.1%増加 (+172万円) しましたが、全国合計(1億1,769万円)に比べて大きく下回っています。

産業小分類別にみると、医薬品・化粧品等(9,892万円)が最も大きく、次いで電気機械器具(9,095万円)、自動車(7,908万円)、繊維品(7,315万円)、化学製品(5,937万円)の順となりました。

第 2 - 15 図 就業者 1 人当たり年間商品販売額の対 H14 年比較



就業者数は、パート・アルバイト等については8時間換算雇用者数を用いて算出しています。

平成16年調査は簡易調査により「パート・アルバイトなどの8時間換算雇用者数」は調査項目になかったため、平成14年調査結果と比較しています。